

科目名 Subject	平面造形演習Ⅱ Two Dimensional Art WorkⅡ			教員名	栗本 佳典	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	4単位	
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	60時間	
実践的教育	×					
主な学習効果	美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力			表現力、すなわち芸術における実践力		
	－			◎		
科目の概要	学士（芸術学）取得のために必要となる、「コンセプトを考えて作品を作り上げる」ことを意識しながら授業を進めます。 油絵具やアクリル絵具を用い、いくつかのテーマに沿って時間をかけて平面作品の制作を行います。					
授業方法	対面授業					
授業の目標	油絵具やアクリル絵具の特性を良く知り、その技術を使うことができる。 特に色や明暗の出し方を修練し、絵画表現の世界を深く豊かなものにするとともに、妥協することなく完成度の高い作品を作り上げる精神力を養い制作することができる。 授業を通して造形力や応用力を高め創意工夫する力を身につけることによって、創意ある豊かな人生を歩むことができる。					
時間外学習 （予習・復習）	月に２回は展覧会を見に行き、すぐれた絵画作品を数多く鑑賞しその背景や表現内容、表現方法について研究して下さい。1回ごとの鑑賞・研究に要する時間は８時間程度とする。					
教科書・教材	教科書	なし				
	教材	なし				
	使用設備・備品	なし				
	参考文献	なし				
評価方法	表現方法の理解度２０％　課題に取り組む姿勢５０％　課題作品の完成度３０％					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。					
履修上の注意	－					
本科目履修と関連する資格	資格名	－				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 1 回	アクリル画①特性	アクリル絵の具の特性を知り、描くことができる。	F10キャンバス
第 2 回	アクリル画①特性	アクリル絵の具の特性を知り、描くことができる。	
第 3 回	アクリル画②描画	明暗や色彩の調和などに注意しながら描くことができる。	
第 4 回	アクリル画②描画	明暗や色彩の調和などに注意しながら描くことができる。	
第 5 回	アクリル画③表現	形や構図、調和など画面全体を注意しながら表現することができる。	
第 6 回	アクリル画③表現	形や構図、調和など画面全体を注意しながら表現することができる。	
第 7 回	人物画の油彩模写①分析	優れた絵画作品の色や明暗、質感などについて、分析することができる。	F10キャンバス
第 8 回	人物画の油彩模写①分析	優れた絵画作品の色や明暗、質感などについて、分析することができる。	
第 9 回	人物画の油彩模写②描画	優れた絵画作品の色や明暗、質感などについて、油彩で描画することができる。	
第 10 回	人物画の油彩模写②描画	優れた絵画作品の色や明暗、質感などについて、油彩で描画することができる。	
第 11 回	人物画の油彩模写③表現	色や明暗、質感などについて油彩を用いて正確に再現し表現することができる。	
第 12 回	人物画の油彩模写③表現	色や明暗、質感などについて油彩を用いて正確に再現し表現することができる。	
第 13 回	自由課題①計画	描画材料やコンセプトを自分で決め、計画的に描くことができる。	F20キャンバス
第 14 回	自由課題①計画	描画材料やコンセプトを自分で決め、計画的に描くことができる。	
第 15 回	自由課題②描画	画面全体を意識しながら計画的に描くことができる。	

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 1 6 回	自由課題②描画	画面全体を意識しながら計画的に描くことができる。	
第 1 7 回	自由課題②描写	画面全体を意識しながら計画的に描くことができる。	
第 1 8 回	自由課題②描写	画面全体を意識しながら計画的に描くことができる。	
第 1 9 回	自由課題③バランス	色彩や明暗のバランスを意識しながら描くことができる。	
第 2 0 回	自由課題③バランス	色彩や明暗のバランスを意識しながら描くことができる。	
第 2 1 回	自由課題③バランス	色彩や明暗のバランスを意識しながら描くことができる。	
第 2 2 回	自由課題③バランス	色彩や明暗のバランスを意識しながら描くことができる。	
第 2 3 回	自由課題④完成に向けて	仕上がりがある程度予想しながら進めることができる。	
第 2 4 回	自由課題④完成に向けて	仕上がりがある程度予想しながら進めることができる。	
第 2 5 回	自由課題④完成に向けて	仕上がりがある程度予想しながら進めることができる。	
第 2 6 回	自由課題④完成に向けて	仕上がりがある程度予想しながら進めることができる。	
第 2 7 回	自由課題⑤完成	コンセプトを基に妥協せず完成度の高い作品を制作することができる。	
第 2 8 回	自由課題⑤完成	コンセプトを基に妥協せず完成度の高い作品を制作することができる。	
第 2 9 回	講評会	自分の作品および他の作品について意見を述べることができる。	
第 3 0 回	講評会	自分の作品および他の作品について意見を述べることができる。	